

JR 駅なか きょう発売

駅なか事業を展開するJR東日本クロスステーション（東京都、西野史尚社長）は30日、天然水を製造するみなかみ工場が稼働開始を迎えたことを祝うオープニング式典を、みなかみ町月夜野の同工場で開いた。

4月28日から稼働を始めた同工場は、湧水をパイプラインで直接引き込み、同工場で充填している。現在はペットボトル入りの天

みなかみに天然水工場

然水550ミリを製造し、31日から発売する。今後、300ミリのタイプや、宅配用の大型ボトルの製造も順次開始する。

工場はハルナプロジェクト（高崎市足門町、中沢幹彦社長）が運営し、地元を中心に従業員16人を雇用した。

式典で西野社長は「谷川岳の水を多くの方に楽しんでいただくことで、採水地みなかみ町の名前を広げたい」とあいさつした。

（多々納萌）



式典でテープカットする西野社長（中央）ら関係者